

共感満足

- ▶ Compassion Fatigue Test (1995)
- ▶ Compassion Satisfaction and Fatigue Test
(1996) → Figleyの共感満足、共感疲労の自己式テスト：「共感による満足への潜在性」「バーンアウトに陥る危険性」「共感疲労に陥る危険性」（日本社会事業大学版・藤岡孝志訳）
- ▶ 「ケアの代償」ではなく「ケアの報酬」がある（Stamm, 1999：小西聖子ら訳『二次性外傷性ストレス反応』所収）